

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

西会津町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福島県耶麻郡西会津町

3 地域再生計画の区域

福島県耶麻郡西会津町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、昭和 25 年の 19,611 人をピークに減少を続け、平成 27 年国勢調査結果では 6,582 人と、ピーク時のおよそ 3 分の 1 となっている。さらに住民基本台帳によると令和 2 年 1 月には 6,155 人となっている。町の将来人口推計では令和 22 年には 3,473 人にまで減少することが予想されている。また、年齢階層別人口の割合をみると、平成 27 年で老年人口の 43.6%に対し年少人口は 8.6%で、令和 22 年になるとそれぞれ 55.7%、7.0%と推計されている。社会動態では、平成 30 年には 74 人の社会減となっており、その要因は 10 代後半から 20 代前半の若者の進学や就職を目的とした転出が多いことが挙げられる。また、自然動態では、平成 30 年には出生数 25 人に対して死亡数 154 人と 129 人の自然減となっているほか、産業構造の変化による雇用機会の減少など、今後一層の人口減少・少子高齢化が進むことが予想される。

人口減少・少子高齢化の進行により、多くの産業分野で深刻な担い手・後継者不足を招き経済規模の縮小につながるほか、医療・介護などの社会的負担の増加、地域コミュニティにおける互助機能や活力の低下など、あらゆる分野で様々な弊害を引き起こすこととなる。

これら課題に対応するため、本町の自然や風土、歴史・文化、人材などあらゆるものを「資源（強み）」として活用し、産業振興や移住・定住につなげ社会減の減少率を抑える。また、結婚・出産対策や、幼保・小・中・高・家庭・地域が

一体となった子育て・教育環境の充実を図り自然増につなげる。

子どもから高齢者まで誰もが生きがいを持って地域で活躍し、ずっとここに住み続けたいと思えるまちづくりを目指す。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標 1 健やかな人とともに育むまちづくり～ひとづくり～
- ・基本目標 2 温故創新 地産地笑まちづくり～しごと・人の流れづくり～
- ・基本目標 3 いきいき健康 ころろつながるまちづくり～健康・絆づくり～
- ・基本目標 4 誰もがここちよく暮らせるまちづくり～くらしづくり～

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	出生数	28人 (2017年)	31人	基本目標 1
イ	事業所数及び従業員数	357事業所 2,117人 (2014年)	300事業所 1,800人	基本目標 2
イ	観光入込客数	763,033人 (2017年)	800,000人	基本目標 2
ウ	健康寿命	男性82.10歳 女性84.55歳 (2016年)	男性82.92歳 女性85.94歳	基本目標 3
エ	「住みやすいまち」と思 う人の割合	57.5% (2017年)	60.0%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

西会津町まち・ひと・しごと創生推進計画事業

ア 健やかな人とともに育むまちづくり事業（ひとづくり）

イ 温故創新 地産地笑のまちづくり事業（しごと・人の流れづくり）

ウ いきいき健康 ころろつながるまちづくり事業（健康・絆づくり）

エ 誰もがこちよく暮らせるまちづくり事業（くらしづくり）

② 事業の内容

ア 健やかな人とともに育むまちづくり事業

地域ぐるみで子育てに取り組み、安心して子どもを産み育てられる環境の創出を迫るとともに、子ども達に新しい学びを通じて、未来を生き抜く力を育成する。

町民みんなが生涯を通じて学び続け、日常生活の中でスポーツや芸術文化に親しむ機会を持ち、健やかな心と体を育む。

【具体的な取組み】

- ・各種子育て支援の充実等、安心して子どもを産み育てられるまちづくり
- ・産官学民連携教育の推進やICTを活用したアクティブラーニングの推進等、「不易と流行」を基本とした教育改革の推進
- ・各種教室や出前講座等、生涯を通じて学び続けられる環境づくり
- ・西会津スポーツクラブ事業等、健康や生きがいづくりとしてのスポーツの推進
- ・歴史文化基本構想に基づく各種事業等、歴史・伝統・文化の継承による郷土愛の醸成 等

イ 温故創新 地産地笑のまちづくり事業

先人が紡ぎ守ってきた歴史や伝統、技、生活の営み、豊かな自然など「ココニ アルモノ」を大切にしながら、新たな考え方や手法と融合さ

せ「フルクテ アタラシイ」価値を創出する。

新しい価値や技術を、農林業や商工業、観光などに積極的に取り入れながら、地場産業の振興と後継者育成、起業家育成を進め、ヒト・モノ・カネがうまく循環する、活気に満ちた笑顔の絶えない町を目指す。

【具体的な取組み】

- ・農林業担い手育成や園芸用施設整備、鳥獣被害対策リーダー育成等、農林産物ブランド化と有害鳥獣対策
- ・ワークインレジデンス事業や中心エリア整備構想等、町内商工業の支援強化と事業承継・創業支援
- ・西会津国際芸術村事業や都市・企業・大学との交流事業等、地域連携による交流人口・関係人口の拡大
- ・移住・定住総合支援センターの拡充や定住促進助成事業等、「人が人を呼ぶ移住」の仕組みづくり 等

ウ いきいき健康 ころろつながるまちづくり事業

町民みんなが自分の健康は自分で守る意識のもと、町民と行政が一丸となって健康づくりを実践することにより健康寿命を延伸し、心身ともに健やかに安心して暮らせるまちづくりを進める。

地域の支え合いのなかで、一人ひとりが、その人らしく生きがいを持って充実した生活を送ることができる、老いて幸せな町を目指す。

【具体的な取組み】

- ・健康コミュニティづくり推進事業等、生活習慣病対策の強化
- ・医師確保対策事業等、安心して受診できる地域医療体制の確保
- ・小規模多機能型居宅介護施設整備等、高齢者が生きがいを持って楽しく暮らせるまちづくり
- ・高齢者等あんしん見守りネットワーク事業等、助け合い・支え合いのまちづくり
- ・集落支援ボランティア受入れ等、活気ある集落づくり 等

エ 誰もがここちよく暮らせるまちづくり事業

町民が一体となって雪を克服し、自然と共生しながら、災害に強い安全なまちづくりを進める。

I C Tの活用や交通体系などの整備により、生涯にわたり快適で便利な暮らしができる「ずっと住みたい町」を目指す。

【具体的な取組み】

- ・雪処理支援隊事業等、自助・共助・公助による雪対策の推進
- ・町民バス運行事業等、安全で快適な公共交通と道路網の整備
- ・会津大学との連携事業等、情報発信強化とI C Tを活用した交流・移住促進
- ・消防防災組織の強化等、防火・防災・防犯・交通安全への意識高揚
- ・環境保全に関する啓発等、豊かな自然・景観の保全
- ・上下水道維持管理等、きれいで快適な水環境づくり 等

※ なお、詳細は西会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）のとおりに

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

35,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度9月に外部有識者による効果検証を行う。効果検証結果は町ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで